

NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

分冊④：1956–1965

- * 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- * 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- * 1987–2025年の年表は西村理による

主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）
『音楽年鑑』（音楽之友社）
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)
Baker's Biographical Dictionary of Musicians (G. Schirmer, 1971)
Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personeerteil (Schott's Söhne, 1972)

オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

1956

昭和31年

1956年1月6日	
1956年1月14・16・17日	第373回定期公演でヤナーチェク《タラス・ブリーバ》を日本初演
1956年1月27日	「モーツァルト生誕200年記念演奏会」でウィーン少年合唱団と協演
1956年1月27日	
1956年2月18日	NHKが招聘したベンジャミン・ブリテンおよびピーター・ピアーズと協演放送
1956年2月18日	
1956年2月28日	
1956年3月	ローゼンストック第7回放送文化賞受賞
1956年3月3・5・6日	第374回定期公演でズーデルマイスター《ピアノ協奏曲第2番》を松浦豊明の独奏で日本初演
1956年3月10日	アメリカから3度びジョセフ・ローゼンストックを招聘。1年間滞在。3月14日「特別演奏会」でテレビ・カメラを初めてオーケストラの背後に設置
1956年3月10日	
1956年3月14日	
1956年3月30日	
1956年4月	
1956年4月1日	
1956年4月2日	
1956年4月9日	
1956年4月13日	
1956年5月14日	「NHKシンフォニー・ホール」で英国生まれのピアニスト、ユージン・イストミンと協演
1956年6月5日	
1956年6月11日	
1956年6月21日	
1956年6月25日	
1956年7月	理事長に永田清就任（1957〔昭和32〕年11月3日死去）
1956年7月2日	
1956年7月2〜4日	第378回定期公演でアイネム《カブリッチョ》を日本初演
1956年7月25日	
1956年9月14・16日	臨時演奏会で研究員外山雄三、岩城宏之が指揮者としてデビュー
1956年9月23日	
1956年9月29日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第1回）に出演。《アイダ》、《フィガロの結婚》、《トスカ》、《ファルスタッフ》のほか慈善演奏会、ヴェルディ《レクイエム》を東京、大阪で22回公演。指揮 ヴィットリオ・グイ、ニーノ・ヴェルキ
1956年10月1日	
1956年10月12日	
1956年10月26日	
1956年10月30日	
1956年11月3日	
1956年11月5日	創立30周年記念祝賀パーティを丸の内工業倶楽部で開催
1956年12月20日	
1956年12月25日	文部省芸術祭に協力した理由により、文部大臣の感謝状を受ける
1956年12月26日	
1957年1月16日	
1957年1月18日	
1957年3月1日	
1957年3月8日	
1957年3月16・18・19日	第384回定期公演でバルトーク《青ひげ公の城》を日本初演
1957年3月22日	有馬大五郎第8回NHK放送文化賞受賞
1957年3月23日	ジョセフ・ローゼンストック、勲3等瑞宝章を受ける
1957年3月25日	
1957年3月26日	
1957年3月29日	オーストリアからウィルヘルム・ロイブナーを常任指揮者に迎える。1959（昭和34）年2月まで在任
1957年4月1日	
1957年4月25日	
1957年5月1日	
1957年5月7日	
1957年5月9日	
1957年5月15日	
1957年5月24日	読売ホール開館記念「ウィーンの夕」演奏会に出演
1957年5月28日	
1957年6月30日	
1957年8月10日	
1957年8月20日	事務長に安藤脩就任。翌年6月退任
1957年8月28日	
1957年9月20日	
1957年10月1日	東京都民祭演奏会に出演

ミスタンゲット（シャンソン）没
エーリヒ・クライバー（指揮）没
ギュスターヴ・シャルバンティエ（作曲）没
新世界レコード株式会社設立。ソ連レコードを発売
メシアン《異国の小鳥たち》パリで世界初演
吉田隆子（作曲）没
東京混声合唱団第1回演奏会
日本最初のステレオ・テープ、ビクターから発売
京都市交響楽団創立
高村光太郎（詩人）没
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団来日、第1回演奏会
藤原歌劇団、マスネ《タイス》日本初演
ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団来日、第1回演奏会
グルリット・オペラ協会、モーツァルト《後宮からの誘拐》日本初演
ABC交響楽団結成披露演奏会
宮城道雄（作曲・箏曲）没
アレクサンドル・ストローク（マネージメント）没
二期会、ブリテン《ピーター・グライムズ》日本初演
日本フィルハーモニー交響楽団結成披露演奏会。指揮渡辺暁雄
カラヤン、ザルツブルク音楽祭の音楽監督となる
立川基地拡張のため、砂川町2次強制測量。反対派と警官隊衝突
ワルター・ギーゼキング（ピアノ）没
都民劇場主催によりR.シュトラウス《ばらの騎士》日本初演
山田耕筰、文化勲章受賞
NHK、カラーテレビ東京実験局開局
青山杉作（俳優、演出）没
アルトゥーロ・トスカニーニ（指揮）没
牧野富太郎（植物学）没（1月21日文化勲章授与）
第1回ソ連文化使節・ベズロードニ来日、ヴァイオリン独奏会
カメラマン小原敬司作品展「来日楽人30年写真展」開催
欧州経済共同市場（EEC）、原子力共同体（ユーラトム）両条約調印
中山悌一帰国第1回独唱会
西独、第1回の徴兵実施、連邦軍を組織
兼常清佐（音楽評論）没
五十嵐喜芳第1回独唱会
音楽学者メルスマン来日
エツィオ・ピンツァ（バス）没
英国、クリスマス島で第1回水爆実験
日フィル委嘱第1回作品として黛敏郎《フォノロジー・サンフォニック》初演。指揮渡辺暁雄
川合玉堂（日本画）没
軽井沢星野温泉において20世紀音楽研究所（所長吉田秀和）主催第1回現代音楽祭開催
ポリショイ劇場バレエ団来日初公演
ジャン・シベリウス（作曲）没

1957年 10月4日		ソ連、人工衛星スプートニク1号打上げに成功。翌年1月31日、米国、人工衛星エクスプローラ1号打上げに成功
1957年 10月12日	エミール・ギレリス演奏会に出演	
1957年 10月19日		平井丈一郎、第1回パブロ・カザルス国際チェロ・コンクールで特別賞受賞
1957年 10月28・29日	日・ソ国交回復記念「チャイコフスキー祭」演奏会	
1957年 10月31日		カラヤンとベルリン・フィルハーモニー管弦楽団来日。11月3日初放送、11月4日初公演
1957年 11月1日	日比谷公会堂改修記念演奏会に出演	
1957年 11月10日	11月3日急逝した理事長永田清の葬儀に参列、ベートーヴェン《交響曲第3番》から葬送行進曲を演奏	
1957年 11月22日	NHKの招きで10月31日来日したベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と東京都体育館で合同演奏。指揮ヘルベルト・フォン・カラヤン	
1957年 12月24日		NHK、FM放送開始
1958年 1月8日	ハリーナ・チェルニー・ステファンスカ演奏会に出演	
1958年 1月24日		丹下健三、米国建築協会より第1回汎太平洋賞を受賞
1958年 2月		諸井誠《ソプラノと室内管弦楽のための稀薄な展開》、松平頼暁《ピアノとヴァイオリンとセロのための変奏曲》、第32回国際現代音楽協会音楽祭に入選
1958年 2月1日		エジプト、シリアを合併してアラブ連合共和国成立。2月21日正式発足
1958年 2月26日		横山大観（日本画）没
1958年 3月15日		久保菜（劇作家）自殺
1958年 4月2日	「3人の会」演奏会。芥川也寸志《エローラ交響曲》、團伊玖磨《交響組曲「アラビア紀行」》、黛敏郎《涅槃交響曲》を初演。指揮芥川也寸志、團伊玖磨、岩城宏之。この中黛作品は翌年尾高賞を受賞	
1958年 4月10日～5月10日		第1回大阪国際フェスティバル。レニングラード交響楽団、ニューヨーク・シティ・バレエ団ほか出演
1958年 4月14日		松浦豊明、第1回チャイコフスキー記念国際コンクール・ピアノ部門で第7位入賞
1958年 4月30日		日本芸術院会館開館式
1958年 5月2日		海野良夫（義雄）第1回ヴァイオリン独奏会
1958年 5月16日		テレビ受信契約数100万突破
1958年 6月	N響編『N響名曲事典』全6巻、平凡社から刊行開始。翌年2月完結	
1958年 6月18日	常務理事・事務長に松島通夫就任。1961（昭和36）年7月退任	
1958年 6月28日		大橋国一第1回独唱会
1958年 7月	理事長に野村秀雄就任。1960（昭和35）年10月17日退任（1964〔昭和39〕年6月20日死去）	
1958年 7月1日		栗林義信第1回独唱会（10月2日ヴィオッティ・コンクールで金賞受賞）
1958年 8月1日		日本ビクター、初の国産ステレオ・レコード発売
1958年 8月17日		フロラン・シュミット（作曲）没
1958年 8月24日		レオ・ブレヒ（指揮）没
1958年 10月16日	東京文化会館建設基金募集特別演奏会開催	
1958年 10月23日		渡邊暁雄、フィンランド・ライオン章授与される
1958年 11月5日	法政大学80周年記念音楽会に出演	
1958年 11月8日	慶應義塾大学100周年記念演奏会に出演	
1958年 11月8日		モーツァルト学者バウムガルトナー来日、ABC響を指揮
1958年 11月24日	早稲田大学大学祭に出演	
1958年 11月27日		アルトゥール・ロジンスキ（指揮）没
1958年 11月28日		都民劇場主催によりドビュッシー《ペレアスとメリザンド》日本初演
1958年 12月3日		箕作秋吉《芭蕉紀行集》ストコフスキー指揮ニューヨーク・フィルが演奏
1958年 12月23日		二期会＝京響モーツァルト・シリーズ第1回公演
1959年 1月3日		和田英作（洋画）没
1959年 1月10日		NHK教育テレビ、2月1日日本教育テレビ、3月1日フジテレビ開局
1959年 2月4日～3月7日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第2回）に出演。《オテロ》、《ラ・ボエーム》、《愛の妙薬》、《椿姫》、《カルメン》のほか慈善演奏会。東京、大阪で26回公演。指揮アルベルト・エレーデ、ニーノ・ヴェルキ	
1959年 2月13日	ドイツからウィルヘルム・シュヒターを常任指揮者に招聘。1962（昭和37）年3月まで在任	
1959年 3月29日	釈迦生誕2500年記念式典において黛敏郎《涅槃交響曲》を演奏	
1959年 3月30日	イタリア歌劇団慈善公演出演に対し、日赤本社社長の感謝状を受ける	
1959年 4月8日		高浜虚子（俳句・小説）没
1959年 4月10日	皇太子殿下御結婚祝賀演奏会で黛敏郎《祝婚歌》ほかを演奏。この曲には日本で初めてオンド・マルトノが用いられ、作曲者が演奏を担当した	
1959年 4月13日		エドゥアルト・ファン・ベイヌム（指揮）没
1959年 4月20・22・23日	第404回定期公演にアンドール・フォルデスを迎える	
1959年 4月30日		永井荷風（小説）没
1959年 5月1・3・7日	イーゴリ・ストラヴィンスキーを指揮者に迎え、《うぐいすの歌》、《ペトルーシカ》（抜粋）、《花火》、《火の鳥》による演奏会を大阪、東京で開催	
1959年 5月9日		梁田貞（作曲）没
1959年 5月12・13・15日	第405回定期公演にヨゼフ・スークを迎える	
1959年 6月10日		国立西洋美術館（上野）開館
1959年 6月27日		松浦豊明、ロン・ティボー国際コンクール・ピアノ部門で第1位入賞
1959年 7月2日		深井史郎（作曲）没
1959年 7月7日		潮田益子第1回ヴァイオリン独奏会
1959年 7月15日		エルネスト・ブロッホ（作曲）没

1958

昭和33年

1959

昭和34年

	N 響	社会・音楽界
	1959年7月22日	安川加寿子、フランス政府より文化功労章を受賞
	1959年8月16日	ワンダ・ランドフスカ（チェンバロ）没
	1959年8月16日	2世梅若実（能楽）没
	1959年9月3日	音楽評論家シュトゥッケンシュミット来日、公開講座を開く
	1959年9月12日	小澤征爾、プザンソン国際指揮者コンクールで第1位入賞
	1959年9月22日	シュタフォンハーゲンほか72名ABC響を退団、声明書発表
	1959年9月30日～10月3日	ソ連首相フルシチョフ中国を訪問、毛沢東と会談。共同声明出されず、中ソの意見対立激化
	1959年10月1日	第32回国際統計学会開会式記念演奏
	1959年10月4日	東京オペラ・アカデミー第1回公演、ヴェルディ《仮面舞踏会》日本初演
	1959年10月19日	日比谷公会堂開場30周年記念演奏会
	1959年11月3日	都民劇場主催によりオネゲル《火刑台上のジャンヌ・ダルク》日本初演
	1959年11月11日	第28回音楽コンクール――ショパン・コンクール派遣者選抜演奏会で種田直之、小林仁、霧生トシ子と協演
	1959年11月24日	長門美保歌劇団、ドヴォルザーク《ルサルカ》日本初演
	1959年11月26日	アルバート・ウィリアム・ケテルビー（作曲）没
	1959年11月28日	NHKの招きで来日したフランスの作曲家アンドレ・ジョリヴェの指揮により、《赤道協奏曲》、《デルフィ組曲》を公開放送
	1959年11月28日	三善晃《オンディーヌ》放送初演。翌年9月27日イタリア賞受賞
	1959年12月21日	藤原義江、アリゴ・ボーラ、イタリア政府より功労章を、福井直秋ドイツ政府より功労章をそれぞれ受賞
1960 昭和35年	1960年1月16日	高田信一（指揮）没
	1960年1月24日	エドウィン・フィッシャー（ピアノ）没
	1960年2月15日	ニューヨークのメトロポリタン歌劇場に出演した今井久仁恵7年ぶりに帰国、3月17日藤原歌劇団の《蝶々夫人》に特別出演
	1960年3月27日	第4回「3人の会」作品発表会。團伊玖磨《2楽章の交響曲》、黛敏郎《受茶羅交響曲》、芥川也寸志《暗い鏡》（歌劇）を初演。指揮岩城宏之
	1960年4月4日	滞日42年、日本のヴァイオリン界に多くの功績を残した小野アンナ、ソ連へ帰国
	1960年4月30日	ソニー、世界初のトランジスタ・テレビ発売
	1960年5月12日	吉本明光（音楽評論）没
	1960年5月20日	国会、新安保条約・協定を強行採決。以後国会空白状態、連日国会周辺デモ
	1960年5月21日	チャイコフスキー記念東京バレエ学校開設（校長牛山充）。ポリシオイ劇場付属バレエ学校と提携
	1960年6月5日	村松孝一（フルート製作）没
	1960年6月15日	全学連主流派国会突入をはかり警官隊と衝突。東大生樺美智子死亡。翌日臨時閣議、アイゼンハワー米大統領訪日延期要請決定。7月15日岸信介内閣総辞職
	1960年7月26日	ザルツブルク祝祭大劇場開場
	1960年8月24日	外山国彦（バリトン、音楽教育）没
	1960年8月27日	世界一周演奏旅行記念特別演奏会
	1960年9月1日～11月1日	NHK放送開始35周年記念事業の一環、NHK派遣音楽文化使節として、世界一周演奏旅行を行う。インド、ソ連、スイス、オーストリア、チェコスロバキア、ポーランド、ドイツ、イタリア、ユーゴスラビア、イギリス、フランス、アメリカの12か国23都市を訪問。ルツェルン国際音楽祭、マリエンスカ国際音楽祭、ワルシャワ現代音楽祭、ベルリン音楽祭、国連デーの出演を含む28回の演奏会および2回の録音・録画に出演。指揮岩城宏之、外山雄三、ウィルヘルム・シュヒター、独奏園田高弘、松浦豊明、堤剛、中村絃子。バリ演奏会の指揮はパウル・クレツキ。独唱、独奏ディートリヒ・フィッシャー・ディースカウ、アレクサンドロ・ウニンスキ（8月29日出発、11月4日帰国）
	1960年9月10日	NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビ、カラーテレビ本放送開始
	1960年9月12日	NHK、朝日新聞社共催、東京現代音楽祭開く。武満徹《弦楽のためのレクイエム》、ドイツ大使賞受賞
	1960年10月12日	浅沼社会党委員長、日比谷の演説会で右翼少年に刺殺される
	1960年11月	ディミトリ・ミトロプロス（指揮）没
	1960年11月2日	都民劇場主催によりワグナー《ニュルンベルクのマイスタージンガー》日本初演
1960年11月2日	吉井勇（歌人）没	
1960年11月19日		
1960年11月28日	第1回海外演奏旅行に対し日本放送協会会長の表彰状を受ける	
1960年12月13～15日	第418回定期公演にパウル・バドゥラ・スコダを迎える。翌年1月7日「バドゥラ・スコダ、ピアノ演奏会」にも出演	
1960年12月26日		
1961 昭和36年	1961年1月	和辻哲郎（哲学）没
	1961年1月3日	松下真一《ピアノと打楽器のためのカンツォーナ・ダ・ソナーレ》、佐藤慶次郎《ピアノのためのカリグラフィ》第35回国際現代音楽協会音楽祭に入選
	1961年2月1日	米国、キューバと国交断絶
	1961年3月	「風流夢譚事件」で右翼少年、中央公論嶋中社長邸を襲い家人2人を殺傷
	1961年3月2日	NHK音楽祭に出演。指揮岩城宏之。独奏諏訪根自子、独唱伊藤京子
	1961年3月8日	小澤征爾、ニューヨーク・フィルの常任副指揮者に就任
	1961年3月13～15日	トーマス・ビーチャム（指揮）没
	1961年3月16日	第421回定期公演にアダム・ハラシェヴィチ、堤剛を迎え、ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》、矢代秋雄《チェロ協奏曲》（前年度尾高賞受賞作品）ほかを演奏。ウィルヘルム・シュヒター急病のため外山雄三が指揮。シュヒター在任中ただ一度の病欠出場
	ヴァーツラフ・ターリヒ（指揮）没	

	N 響	社会・音楽界
	1961年4月3日	二期会、ドニゼッティ《ドン・パスクワレ》日本初演
	1961年4月7日	
	1961年4月7日	東京文化会館落成式
	1961年4月11日	イスラエルでユダヤ人大虐殺の責任者アイヒマン裁判始まる。12月15日アイヒマンに死刑判決
	1961年4月12日	ソ連宇宙船ウォストーク1号（ガガーリン搭乗）地球一周飛行に成功
	1961年4月17日～5月6日	東京世界音楽祭開催（文化自由会議など主催の4月18日～4月22日東西音楽交流会議の一環）
	1961年4月29日	NHKがフランスから招いた指揮者ジャン・ジャルディーノと協演放送
	1961年5月3日	
	1961年5月6日	1961年東京世界音楽祭に出演
	1961年5月16～18日	第423回定期公演にイェルク・デムスを迎える
	1961年6月	常務理事有馬大五郎、副理事長に就任
	1961年6月10日	常務理事・事務長に木村竜蔵就任。1963（昭和38）年6月まで在任
	1961年6月23日	
	1961年9月17日	8月23日ウィーン郊外で客死した団員のトロンボーン奏者嶋昇の楽団葬を青山斎場で行う
	1961年9月24日	ベルリン・ドイツ歌劇場新設開場
	1961年9月26日	パリ・オペラ座来日、《カルメン》を上演
	1961年9月28日～11月2日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第3回）に出演。《アンドレア・シェニエ》、《リゴレット》、《トスカ》、《アイーダ》、《カヴァレリア・ルステイカーナ》、《道化師》のほか慈善演奏会を東京、大阪で20回公演。指揮フランコ・カプアーナ、アルトゥーロ・パジール、ジュゼッペ・モレルリ
	1961年10月6日	門馬直衛（音楽評論）没
	1961年10月10日	ケンフ、武蔵野音大の招きで来日、同大学のパイプ・オルガンを弾き初め
	1961年11月4日	7世坂東三津五郎（歌舞伎）没
	1961年11月22～24日	第425回定期公演。この会より会場を日比谷公会堂から東京文化会館に移す
	1961年11月28日	二期会、チマローザ《秘密の結婚》日本初演
	1961年12月4日	津田左右吉（歴史学）没
	1961年12月12日	池内友次郎、フランス政府からレジオン・ドヌール勲章を授与される
	1961年12月25日	矢内原忠雄（経済学）没
	1962年1月7日	石井漢（創作舞踊）没
	1962年1月10日	江崎健次郎《3声と打楽器のための鼓動》第36回国際現代音楽協会音楽祭に入選
	1962年1月13日	社会党訪中使節団長鈴木茂三郎、張奚若と共同声明「米帝国主義は日中人民共同の敵」を確認
	1962年1月25日	コーブランド、日米教育文化会議に出席のため来日
	1962年1月29日	フリッツ・クライスラー（ヴァイオリン）没
	1962年2月3日	ビエトロ・スバダ、ピアノ演奏会に出演
	1962年2月5日	
	1962年2月17日	
	1962年2月22日	NHK音楽祭に出演
	1962年2月27・28日	「ハンス・ホッター演奏会、ヴェルディ、ワーグナーの夕」に出演
	1962年3月16日	芝伊皿子町35（現在は港区高輪2丁目16番49号）に演奏所落成
	1962年3月22日	
	1962年3月26日	
	1962年4月～5月	アメリカからエフレム・クルツを客演指揮者に招聘（4月9日来日、6月9日離日）
	1962年4月2日	
	1962年4月6日	
	1962年4月12日	
	1962年4月29日	
	1962年5月15～17日	第431回定期公演にクルツ夫人エレース・シェファアーを迎える
	1962年5月31日	
	1962年6月～12月	小澤征爾を客演指揮者に招聘
	1962年6月13日	
	1962年6月15日	
	1962年7月4日	NHKが招いたフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン《トゥランガリラ交響曲》日本初演（世界で72回目の演奏）。指揮小澤征爾。ピアノ独奏イヴォンス・ロリオ、オンド・マルトノ独奏本荘玲子
	1962年9月6日	
	1962年9月7日	アメリカのオルガン奏者ヒュー・ジャイルズを迎えてブーランク《オルガンと弦とティンパニのための協奏曲》日本初演（武蔵野音大ベートーヴェン・ホール）
	1962年9月23日	
	1962年9月26日	
	1962年10月2～15日	NHKの派遣により再び音楽文化使節として、香港における第1回東南アジア音楽祭に出演。引続きシンガポール、クアラルンプール、マニラ、沖縄の諸都市で8回の演奏会に出演。指揮小澤征爾。独奏海野義雄、ネナ・デル・ロザリオ（9月29日出発、10月16日帰国）
	1962年10月9日	前衛作曲家ジョン・ケージ、ピアニストのチューダーと共に来日
	1962年10月28日	正宗白鳥（小説）没
	1962年11月19日	第1回現代音楽祭「大阪の秋」相愛学園講堂で2日間開く

1962

昭和37年

	N 響	社会・音楽界
1963 昭和38年	1962年12月	小澤征爾と楽団側にトラブル起こり、予定されていた定期公演、臨時公演はすべて中止。定期会員には電報、葉書、新聞広告で公演中止を連絡
	1962年12月3日	札幌交響楽団、群馬交響楽団、京都市交響楽団合同演奏会（高崎市群馬音楽センター）
	1962年12月7日	キルステン・フラグスタート（ソプラノ）没
	1963年1月	フランスからジャン・フルネを客演指揮者に迎える（1月4日来日、29日離日）
	1963年1月15日	「小澤征爾の音楽を聴く会」開く
	1963年1月20日	長野羊奈子、ベルリン・ドイツ・オペラと本契約を結ぶ
	1963年1月22日	文部省芸術祭祝典記念演奏会に協力した理由により文部大臣の感謝状を受ける
	1963年1月23日	川上久雄第1回ヴァイオリン独奏会
	1963年1月30日	フランシス・ブーランク（作曲）没
	1963年2月2日	遠藤宏（音楽評論）没
	1963年2月9日	ハチャトゥリヤン読売日響を指揮
	1963年2月20日	フェレンツ・フリッチャイ（指揮）没
	1963年3月11日	定期会員券の取扱いは従来銀座三越内「N響案内所」に委託してきたが、NHK新館内に「N響ガイド」を新設し、自主取扱いを開始
	1963年3月24日	「NHK歌劇の夕」に出演。林光《絵姿女房》、チマローザ《宮廷楽士長》日本初演
	1963年4月〜5月	フランスから再びジャン・マルティノン客演指揮者に迎える（4月1日来日、6月1日離日）
	1963年4月1日	外山雄三、岩城宏之を本団指揮者とする
	1963年4月6日	東南アジア演奏旅行フィリピン公演に対しフィリピン大学から感謝状とメダルを受ける
	1963年4月7日	大河ドラマ『花の生涯』放送開始
	1963年4月8日	安藤幸（ヴァイオリン）没
	1963年4月14日	野村あらえびす（音楽評論）没
	1963年5月6日	久保田万太郎（小説）没
	1963年5月8日	南ベトナムのユエで仏教徒のゴ・ジンジェム政府反対デモ
	1963年5月26日	前衛派の演奏家グループ「ニュー・ディレクション」第1回公演
	1963年5月29日	「タイ国王・王妃両陛下訪日記念特別演奏会」に出演
	1963年6月5日	ハチャトゥリヤン、60歳の誕生日にレーニン勲章を授与される
	1963年6月10日	常務理事・事務長に小川昂就任
	1963年6月16日	コンサートマスターとしてウィーン・フィルのウィルヘルム・ヒューブナー来日。翌年6月16日帰国
	1963年6月23日	NHK、オリンピック東京大会組織委員会共催「オリンピック音楽作品発表会」に出演
	1963年7月3〜10日	第5回国際音楽教育会議（ISME）東京で開催。音楽教育に関する東洋最初の国際会議
	1963年7月6日	ドミートリ・カバレフスキーと協演放送
	1963年7月15日	松本善三ほか22名群馬交響楽団を退団。のち東日本交響楽団を結成
	1963年8月15日	第1回那須国際夏季音楽祭開幕
1963年8月21日	南ベトナム全土に戒厳令	
1963年9月1日	創価学会「民音」結成。10月18日記念演奏会開催	
1963年10月16日〜11月21日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第4回）に出演。《トロヴァトーレ》、《蝶々夫人》、《セビリアの理髪師》、《西部の娘》のほか慈善演奏会を東京、大阪で24回公演。指揮デ・ファブリティス、ヴェルキ	
1963年10月20日〜11月7日	日生劇場開場記念ベルリン・ドイツ・オペラ公演	
1963年11月	信時潔、文化功労賞受賞	
1963年11月1日	南ベトナムで軍部のクーデター。11月2日ゴ大統領兄弟殺される。11月4日臨時政府樹立	
1963年11月15日	フリッツ・ライナー（指揮）没	
1963年11月21日	ミュンヘン国立歌劇場再開	
1963年11月22日	ケネディ米大統領ダラスで暗殺	
1963年11月26日	アメリカタ・ガリ・クルチ（ソプラノ）没	
1963年12月2日	佐々木信綱（歌人）没	
1963年12月28日	パウル・ヘンデミット（作曲）没	
1964 昭和39年	1964年1月1日	NHK作曲賞制定。第1回受賞作品三善晃《ソプラノと管弦楽のための“決闘”》（独唱瀬山詠子）。前年8月2日放送
	1964年1月5日	大河ドラマ『赤穂浪士』放送開始
	1964年1月27日	井口基成6年ぶりのピアノ独奏会
	1964年1月30日	南ベトナムで第2次軍事クーデター
	1964年2月	第1回中西音楽賞受賞者決定。田中利光、堀悦子、平岡敏子、菊地洋子
	1964年2月	秋山和慶、東響を指揮してデビュー
	1964年2月12日	日生劇場音楽シリーズ第1回公演
	1964年2月16日	
	1964年2月16日〜3月5日	NHKの派遣により三たび音楽文化使節として沖縄、タイ、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドを訪問。7都市で9回公演。指揮岩城宏之、外山雄三（2月14日出発、3月8日帰国）
	1964年3月6日	朝比奈隆、R.シュトラウス協会より感謝状を贈られる
	1964年3月11日	イギリスから客演指揮者に招聘したコンスタンティン・シルヴェストリ来日。5月2日離日

1964年3月13日	NHK音楽祭に出演	
1964年3月24～26日	第445回定期公演にミシェル・シュヴァルベを迎える	
1964年3月26日		東京交響楽団経営難のため解散。4月9日楽団長橋本駿三郎引責入水自殺
1964年3月27日		東京少年少女合唱隊、リンカーン・センター開場記念祭に招かれ渡米
1964年4月5日		三好達治（詩人）没
1964年4月12日		藤原歌劇団、ブッチェニ没後40年記念として《マノン・レスコー》日本初演。指揮ガエタノ・コモリ
1964年4月15日		NHK電子音楽室完成
1964年4月18日		朝倉文夫（彫刻）没
1964年5月～6月	スイスからエルネスト・アンセルメを客演指揮者に招聘（5月11日来日。6月11日離日）	
1964年5月6日		佐藤春夫（詩人）没
1964年5月27日		インド首相ジャワハルラール・ネルー没
1964年6月8日		笈田光吉（ピアノ）没
1964年6月9日		東京放送合唱団20周年記念日本合唱曲連続演奏会第1回演奏会
1964年7月1日		ビエール・モントゥー（指揮）没
1964年7月9日	理事長阿部真之助死去	
1964年8月14日	理事長に前田義徳就任。1971（昭和46）年5月25日まで在任	
1964年8月31日	ドイツからアレクサンダー・ルンプフを常任指揮者に招聘（翌年7月27日離日）	
1964年9月28日	ジョージ・ロンドン演奏会に出演	
1964年10月1日		国鉄、東海道新幹線開業
1964年10月2日	第18回オリンピック大会開会式祝典演奏会に出演	
1964年10月10・15・19・23日	オリンピック東京大会協賛芸術展示に岩城宏之、若杉弘、外山雄三指揮による一連の特別演奏会を開催。毎回日本人作曲家の作品——黛敏郎（10日）、入野義朗（15日）、武満徹（19日）、三善晃（23日）の作品——を演奏	
1964年10月10～24日		第18回オリンピック東京大会開催。参加94か国、選手総数5,541人
1964年11月	NHKが招聘したウォルフガング・サヴァリッシュ指揮による特別演奏会に出演。東京、大阪で8回公演（11月4日来日、12月1日離日）	
1964年11月12日		米原子力潜水艦シードラゴン号佐世保に入港。11月13日反対デモ警官隊と衝突
1964年12月1日		ベンデレツキ、《広島の犠牲者への哀歌》のレコードを広島市に寄贈
1964年12月5日		第1回京都市音楽大賞、第1席江崎健次郎
1965年1月3日	大河ドラマ『太閤記』（テーマ音楽：入野義朗、指揮：外山雄三）放送開始	
1965年1月4日	フランスからビエール・デルヴォーを客演指揮者として招聘。27日離日	
1965年1月6日		花柳章太郎（俳優）没
1965年2月		ヤマハ音楽教室、カリフォルニア州にアメリカ最初のモデル教室設置を決定。6月開校予定と発表
1965年2月7日		米機、ソ連首相訪問中の北ベトナムのドンホイを爆撃（北爆開始）
1965年2月24日		レオ・シロタ（ピアノ）没
1965年3月16日	NHK音楽祭に出演、「シベリウス・プログラム」による演奏会	
1965年3月18日		ソ連宇宙船ヴォスホート2号のレオノフ飛行士、初の宇宙遊泳に成功
1965年4月1日		東京都交響楽団発足。4月3日東京文化会館で結団式を挙行。楽団長諸井三郎。10月1日披露公演
1965年4月16日		柳兼子、芸術院恩賜賞受賞
1965年4月17日		ワシントンで1万人の反戦デモ
1965年4月30日	クラウディオ・アラウ演奏会に出演	
1965年5月		7月来日予定のストコフスキーとの契約をめぐり日本フィルと読売日響対立
1965年5月9日		山本直忠（作曲）没
1965年5月26日		「ベトナム侵略に反対する音楽家、舞踊家のあつまり」開く
1965年6月3日	ウィルヘルム・ケンプ、ピアノ演奏会に出演	
1965年6月4日		武満徹《テクスチュアズ》、1965年国際現代作曲会議（パリ）で百数十の作品をしのいで最優秀作品に選ばれる
1965年7月30日		谷崎潤一郎（小説）没
1965年8月1日		信時潔（作曲）没
1965年8月23日		神戸労音、設立15周年記念としてプロコフィエフ《平和の守り》日本初演
1965年8月30日	ウィーン交響楽団首席チェロ奏者ニコラウス・ヒューブナーを客員奏者として招聘（翌年8月10日離日）	
1965年9月4日		アルベルト・シュヴァイツァー（オルガン、バッハ研究）没
1965年9月4日～10月7日	NHK主催「スラブ歌劇団公演」に出演。《ボリス・ゴドノフ》、《売られた花嫁》、《イーゴリ公》、《エフゲーニ・オネーギン》のほか慈善演奏会。東京、大阪で26回公演。指揮ロヴロ・フォン・マタチッチ、オスカー・ダノン、ミラン・ホルヴァート	
1965年10月21日		朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞決定
1965年10月25日		ハンス・クナッパーツブッシュ（指揮）没
1965年10月30日	第20回芸術祭参加「日本の作品によるN響特別演奏会」に出演	
1965年10月30日		石倉小三郎（音楽評論）没
1965年11月8日	スラブ歌劇団慈善公演出演に対し日赤本社から有功賞、特別社員賞を受ける	
1965年11月12日		都響存続をめぐり論争起こる
1965年11月12・13日	第458回定期公演にウルリヒ・コッホを迎える。指揮岩城宏之。なおこの回から定期公演にチクルス“A”、“B”制を設け、従来の1か月3日間公演を“A”、“B”各2日ずつ計4日公演とする	
1965年11月22日	フランスから再びジャン・フルネを客演指揮者に招聘。12月18日離日	

1965

昭和40年

1965年12月～1966年2月	西ドイツからヨーゼフ・カイルベルトを客演指揮者に招聘。定期公演のほか臨時公演（ベートーヴェン《交響曲第9番》）および大阪、名古屋公演にも出演（12月17日来日、翌年2月11日離日）	
1965年12月10・11日	第461回定期公演にジャック・ランズロを迎える。指揮フルネ	
1965年12月15日		米2人乗り宇宙船ジェミニ7、8号太平洋上で初のランデブーに成功
1965年12月29日		山田耕筰（作曲、指揮）没。翌年1月11日築地本願寺で楽壇葬。約5,000人参列